



414
A 136

臣 勇次郎 謹テ 懇願ス



臣 謹 方之資ヲ以テ 夙ニ 國恩之万一ヲ報セン

ト欲シ自ラ 駕鈍ヲ勵シテ 學ニ從事スル 茲ニ數年

然レ在 其材之乏シキ 終ニ成ル能ハス 日夜歎息シ曰

ク 學修ラス 業立、ス 何以テ 國恩ニ報ス可キ 無シ

唯願フ 國家若シ 事有ラハ 幸ニ一死ヲ以テ 其塵

埃ヲ報セント 是ヲ企テ 面ヲ仰キ 爲ス有ル之時ヲ 待テ

然ルニ 昨々 自歳ニ至リ 數年之 游學ヲ 資用 結スル能ハス

殆レト 饑餉ヲ 免レサルニ 至ル 是ニ於テ 止ムヲ 得ス 其情

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

ヲ知友ニ告ケ職勞ヲ山梨裁判所ニ奉スル一今二十
月是時ニ當リ俯レテハ思ヒ仰テハ歎キ永ク其欲セ
サル所ニテ括ラハ則チ終ニ志ヲ伸ヘ
國恩ヲ報スル
テ得スヤ常ニ切齒憂憤シテ終ニ今日ニ至リレテ口圖
ラサリキ東京之知友ヨリ書ヲ送リ曰リ
朝廷將ニ
臺灣ニ事アラントスルヲ聞ク是有志之也
國恩ヲ
報スル之時ナリト臣是ノ言ヲ聞キ自ラ奮然興起
シ曰ク是レ平生之願ヲ所ナリ速カニ職ヲ辭シ晝夜兼
行東京ニ至レハ西郷陸軍大輔既ニ東京ヲ發スト是

ニ於テ臣茫然措リ所ヲ知ラス然レモ猶以テ川崎陸軍
會計一等副監督ホト發セスト聞キ急キ其門ニ至リ
二度ニ答刺ヲ通スレモ終ニ見ルヲ得ス臣猶止マス三原海
軍少尉友ナニ陸軍省ニ至リ強テ面謁スルヲ得テ區々
之志ヲ陳レハ川崎陸軍會計一等副監督臣之懇衷
ヲ恤レシ曰ク我レ子之情ヲ盡ク徹セリ然レモ事既ニ今日
ニ至リ我カ如何スヘキ無シト是ニ於テ臣瞑迷シテ爲ス所
ヲ知ラス伏テ願フハ
官臣之志ヲ察レ大憲ヲ
垂レ僕團之例ニ加ヘ臺灣地ニ至リ臣之平素ヲ伸ヘ

國恩之万一ヲ報スルヲ得セシメハ實ニ臣之幸ナリ臣勇
次帝誠恐誠惶頓首百拜謹テ懇願ス

甲戌
四月十三日

岩手縣士族
長澤三男次郎
知

ホルモサ事勢概リ

大隈參議殿
閣下

